

令和3年度病害虫発生予察指導情報

対象病害虫：ナシ黒星病（No.14）

令和3年5月27日
鳥取県病害虫防除所

表1 病落葉からの子のう胞子飛散状況（調査地点：鳥取県園芸試験場）

単位：個

月・半旬	令和3年	令和2年	平年 (平成28年～令和2年)
3・4*	0	0	—*
3・5	0	16	7.0
3・6	0	116	25.4
4・1	0	80	23.3
4・2	0	0	8.2
4・3	1	40	18.4
4・4	0	18	7.2
4・5	0	0	65.2
4・6	0	0	4.4
5・1	0	3	1.6
5・2	0	1	0.2
5・3	0	0	0
5・4	0	0	0
5・5	0	0	0
5・6		0	0

注) —は欠側。電動モーターを用いた吸引式胞子採集方法で実施。

*R2年から調査を開始したため、平年値は未記載。

表2 果（花）そう基部病斑からの分生子飛散状況
(調査地点：鳥取県園芸試験場)

単位：個/雨水あたり

月・半旬	令和3年	令和2年	平年 (平成23年～令和2年)
3・4	0.6	0	—*
3・5	0	1.0	2.0
3・6	0	1.8	5.1
4・1	23.8	2.6	6.3
4・2	—**	—**	8.7
4・3	12.5	12.5	5.3
4・4	23.0	7.2	4.1
4・5	—**	0	31.8
4・6	11.4	4.5	14.1
5・1	2.1	82.4	10.8
5・2	170.5	0.3	2.2
5・3	34.7	20.9	4.1
5・4	51.4	6.5	13.1
5・5	18.0	0.5	67.9
5・6		0.3	14.0

注) —は欠側。*R2年から調査を開始したため、平年値は未記載。平年値は、5年以上の観測値から算出。

**は無降水のため調査未実施。

<情報の内容>

5月第5半旬調査結果

- ・病落葉からの子のう胞子の飛散は、認められなかった。
- ・花そう基部からの分生子の飛散量は、平年に比べてやや多かった。

<参考>

- ・子のう胞子採集方法
病落葉（前年採集）100葉の上に設置した胞子採集機内にグリセリンゼリーを塗布したスライドガラスを静置（24～72時間）し、スライドガラスに付着した胞子数を調査した。
- ・分生子採集方法
雨滴法（漏斗を罹病した腋花芽の下に設置）により採集した雨滴中の胞子数を降雨日ごとに調査した。